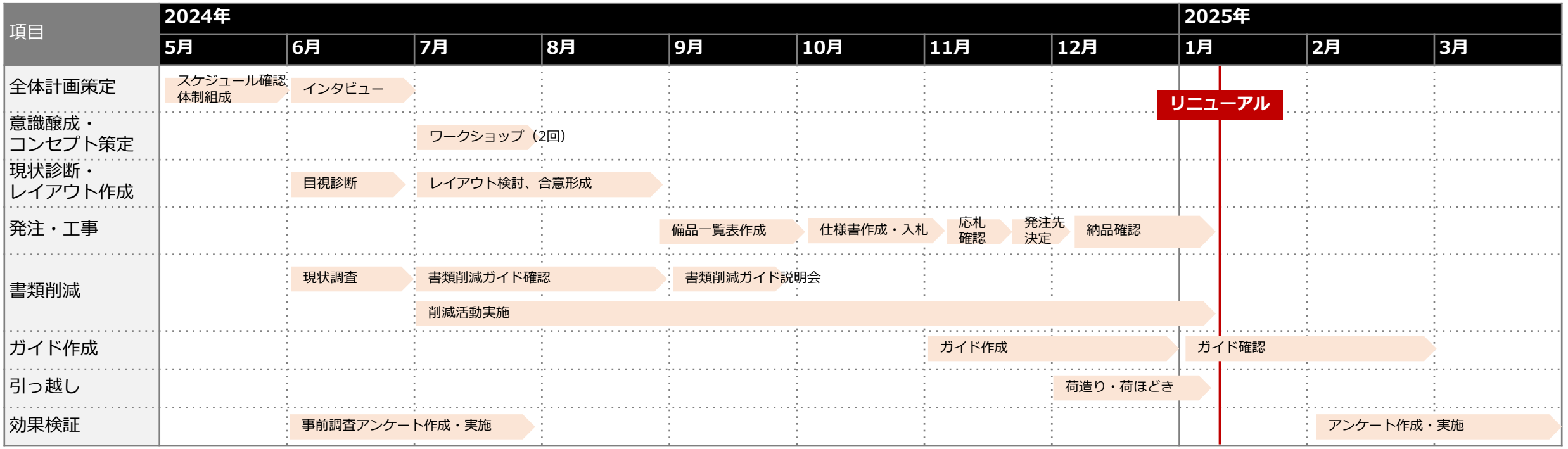
05 | モデル３省実施結果(各省)

- 文部科学省科学技術・学術政策局
  人材政策課　産業連携・地域振興課

基礎情報・実施スケジュール

※ fm：書類の数量を図る単位。 概ねA4サイズのコピー用紙を1メートル積み重ねた高さが1ファイルメーター（1fm）となります。
※ ハイキャビネット（幅90㎝・奥行45㎝・高さ200㎝前後）1台で約5.4fmです。収納量はワゴン・足元棚・補助棚を含む数字です。その数字をハイキャビネット台数に換算にしています。

	改革ポイント	業務特性	検討当初ニーズ	面積	席数（mtg席も含む）		管理職席		テレワーク	座席運用		ペーパーレス	収納量(fm※)		環境整備コンセプト
					BEFORE	AFTER	BEFORE	AFTER		BEFORE	AFTER		BEFORE	AFTER	
文部科学省	• テレワーク及びABWで快適性、生産性、連携の向上 • 管理職を島中化し、快適性、生産性の向上 • 書類削減によるスペース効率の向上	• 全国の指導・問合せ対応・政策企画立案などを行う • 外部からの要望に対する突発的な対応が多い • 主にチームのまとまりで仕事を進めているため、情報共有・連携が重要	• 政策立案機能の強化を図る • 個人生産性アップ（スマート化）と、部署間連携（リアル）、外部連携（WEB、イベント）を強めたい	414.4㎡	81席	147席 UP	17席	5席 DOWN	• 出勤率8～9割 • 週4出勤目標に掲げ、今後もテレワークを推進	固定席	フリーアドレス	• 収納庫削減実施 • 袖机・ワゴンはほぼなし • 複合機台数を削減	ハイキャビネット 約91台分 491.4fm	ハイキャビネット 約56台分 302.4fm DOWN	<上げる> • 自席の集中・快適度アップ • コミュニケーション・打合せエリア増 <下げる> • 収納大幅削減 • デスクシェア • 管理職席の削減



目視診断結果

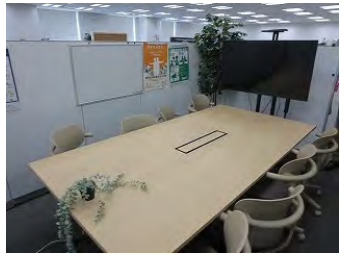
生産性・コミュニケーションの評価

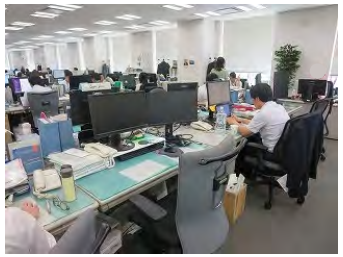
良い点

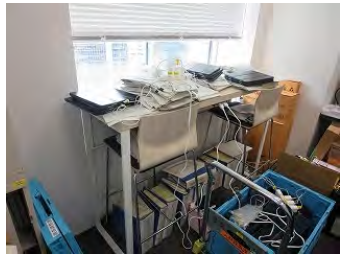
- ミーティングスペースが設けられており、モニターやホワイトボードといったツールが設置されている
- 執務席にモニターが設置されており、業務効率がよい

改善点

- 窓際のソロスペースが作業用の物置場となっており、有効活用されていない









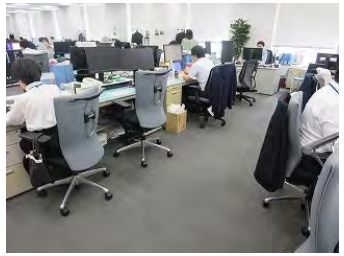
安全・健康リスクの評価

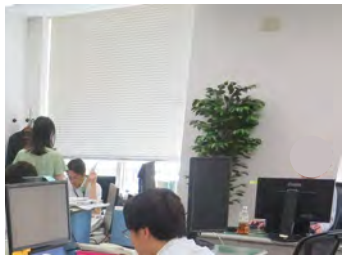
良い点

- デスク間通路は広く、動線が確保されている
- 植栽が置かれておりリフレッシュ効果がある

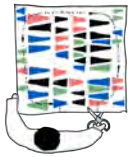
改善点

- 保管庫の上に段ボールが置かれており落下の危険性がある また、段ボールが直置きされている場所があり、動線の妨げになっている
- 空調が均等ではなく、温度管理や空気の循環が悪い（扇風機が置かれている）









文書・備品管理の適切性の評価

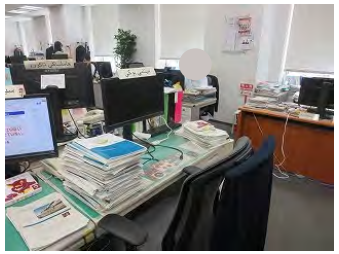
良い点

- 保管庫内の文書には見出しが適切についている

改善点

- デスク上下に書類やファイルが置かれたままの席も多く、デスクの有効面積が狭まっている席がある
- 書庫内の古い文書について、廃棄などの判断がしずらい状態の文書がある









トップインタビュー結果

実施概要

実施日時 ： 2024年6月28日（水）13:00～13:30
対象者　 ： 科学技術・学術政策局　生田知子 人材政策課長
　　科学技術・学術政策局　池田一郎 産業連携・地域振興課長

インタビューの狙い

オフィスリニューアルを単に「職員の福利厚生のためのカイゼン」で留めず、「組織としての生産性改革・モチベーション改革」の手段として位置付け、進める。そのために組織マネジャーとしてのニーズや目標設定を伺い、改革コンセプトに取り入れる

インタビュー・対話項目

- プロジェクトに期待していること
- 生産性高く、やりがい高い組織となる上で、自組織が直面している組織課題や目指す姿
- オフィス環境で課題となっている点及びマネジメント視点での解決案
- その他、プロジェクトを進めていく上での疑問・確認事項

インタビュー結果（サマリー）

プロジェクトへの期待

- **高い目標設定と柔軟な実現プロセス**
  実現可否に捉われ過ぎず、様々な検討事項に対し、目標を高く設定し、達成に向け、柔軟にチャレンジしてみたい。
- **課を越えたコミュニケーションの活発化**
  課内、省内の違う課の職員とのコミュニケーションも活発になると良い。
- **リクルーティング効果**
  オフィスを見た人が働きたいと思ってもらえるようにしたい。



オフィス環境における改善ポイント

- **スッキリとした環境の実現**
  ごみごみしている環境からスッキリしキレイな執務環境にしたい。
- **集中とリラックスのバランスをとる**
  集中とリラックスの切り替えができる環境が望ましい。一人一人のモチベーションに繋がり、働きやすくなると感じる。
- **書類削減の推進**
  新機能を取り込むために、書類をどこまで減らせられるかが鍵。



現状課題と解決にむけたアイデア

- **外部関係者との交流促進**
  入りにくい、踏み入れにくいと思われがちな印象を打破したい。その要因の一つとなっている入口付近のキャビネット配置を変えたい。
- **会議・打合せスペースの充実**
  打合せスペースが足りていない。
  会議室で行う会議と気楽にできる会議を使い分けられる環境があると良い。
  また、オープンな打合せスペースは音対策も必要。



プロジェクト情報発信の必要性

- **他フロアへの情報伝達が必要**
  同じフロアの人間は、変化に気付くと思う。他フロアの人にどのように伝えていくかが重要。
- **プロセスも含め変化を伝える**
  結果だけでなく過程を知ることで、自分たちでも変えられるということを実感してもらいたい。



ワークショップ結果

ワークショップ結果

第１回 『図面を見ながらのプラン具体化』

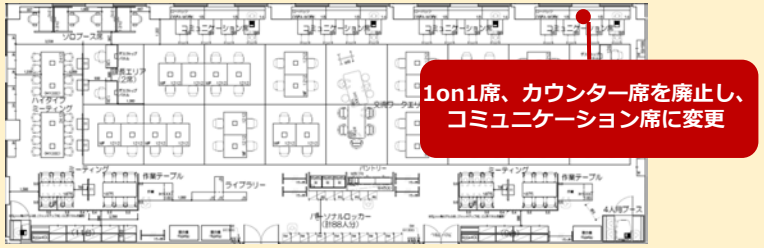


【席数：64席】
管理職席：なし、普通席：64席
※ コミュニケーション席（ソファ席）として上記別で4席
【ミーティングスペース：5カ所】
【ソロブース・カウンター席：8席】

空間プラン案❶への意見・アイデア

- 1on1席は利用イメージがわかないため、不要
- 打合せスペースは一定の機密性を担保したいため、セミクローズドに変更する
- カウンター席は利用頻度が低いと思われるため、コミュニケーション席に変更する
- 打合せは６人程度の利用が使いやすい。また、人数が流動的なので、フレキシブルに規模を変更できるようにしたい
- ブース席は一定の利用が想定されるため、
隙間スペースに設置したい　等

第２回 『ライブオフィス見学とプラン修正』



【席数：60席】
管理職席：4席、普通席：56席
※ コミュニケーション席（ソファ席）として上記別で16席
【ミーティングスペース：7カ所】
【ソロブース席：4席】

空間プラン案❷への意見・アイデア

- モニターの利用頻度が高いため、全打合せスペースに設置する
- 大人数が画面を見ることができるようにフロア中央の交流スペースに、大画面モニターを設置する
- ミーティングスペース間のパーティションは打合せ人数によりフレキシブルに変更できるように、可動式で変更がしやすいものとする　等

プランブラッシュアップ内容

- 利用ニーズが不明確な「1on1席」は廃止し、他スペース（コミュニケーション席）に変更
- 打合せスペースはセミクローズド型へと変更し、機密性を高める
- 使用頻度の低いカウンター席は、会話や交流が促進されるコミュニケーション席として再設定
- 打合せ席は基本６人に変更
- 利用頻度の高いと想定されるブース席を増設

- 全ての打合せスペースにモニターを常設し、画面共有や資料確認をスムーズにする
- フロア中央の交流スペースには大画面モニターを設置し、大人数での情報共有やプレゼンが行えるようにする
- ミーティングスペース間のパーティションを可動式とし、打合せ人数や用途に応じて柔軟に変更可能な構成とする

書類削減結果 | 実施スケジュール・削減結果

実施スケジュール

項目	2024 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025 1月	2月
コクヨサポート内容	現状調査	削減ガイド作成		削減活動説明会		点検	点検		
現場の削減活動	削減活動実施				身の周りの整理		書庫・倉庫の整理	リニューアル	

活動のポイント・工夫

- **書庫の台数を明確化**
  人材課と産地課で現在使用している書庫の台数と削減後の台数をしっかり提示し、減らすボリュームをそれぞれの課ごとで見える化を行い目標の明確化を行う
- **倉庫内の再整理**
  10月に倉庫内の片付けを再度行い、執務室から移動してくる行政文書の格納の余白を作る活動を行った（8月までに倉庫整理を実施済）
- **お掃除タイムを利用して削減活動を推進**
  隔週で実施していたお掃除タイムを毎週行い、削減活動を推進する取組を行った



削減結果

収納什器 **約40%削減** ※ 溢れているもの含まず

一人当たり **3.9fm**
※ パーソナルロッカー含む
※ 80人で算出

BEFORE

壁面書棚（W800）	腰高キャビネット（W800）	その他サイズの保管什器	袖机・足元棚	パーソナルロッカー	合計
57台（273.6m）	46台（110.4fm）	2台（5.4fm）	122台（122fm）	0台（0fm）	**511.4fm**

※ ロッカー・キッチン棚除く

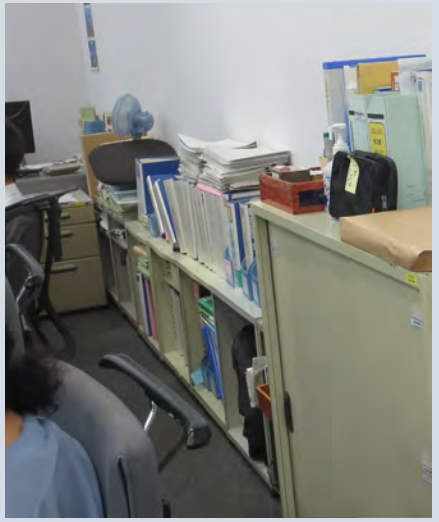
AFTER

壁面書棚（W800）	腰高キャビネット（W800）	その他サイズの保管什器	袖机・足元棚	パーソナルロッカー	合計
43台（206.4fm）	16台（38.4fm）	0台（0fm）	0台（0fm）	14台（6人用）（67.2fm）	**312.0fm**

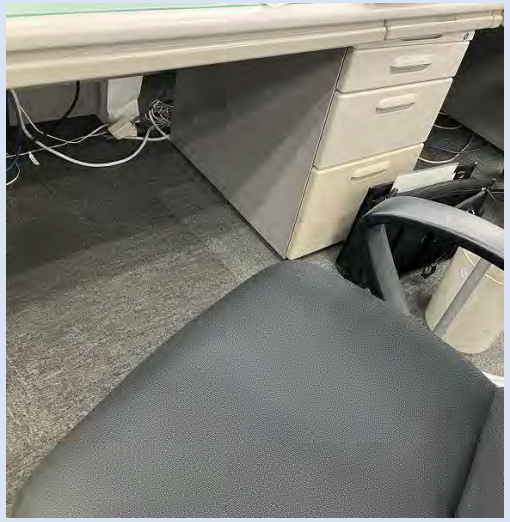
書類削減結果

削減活動前




削減活動後



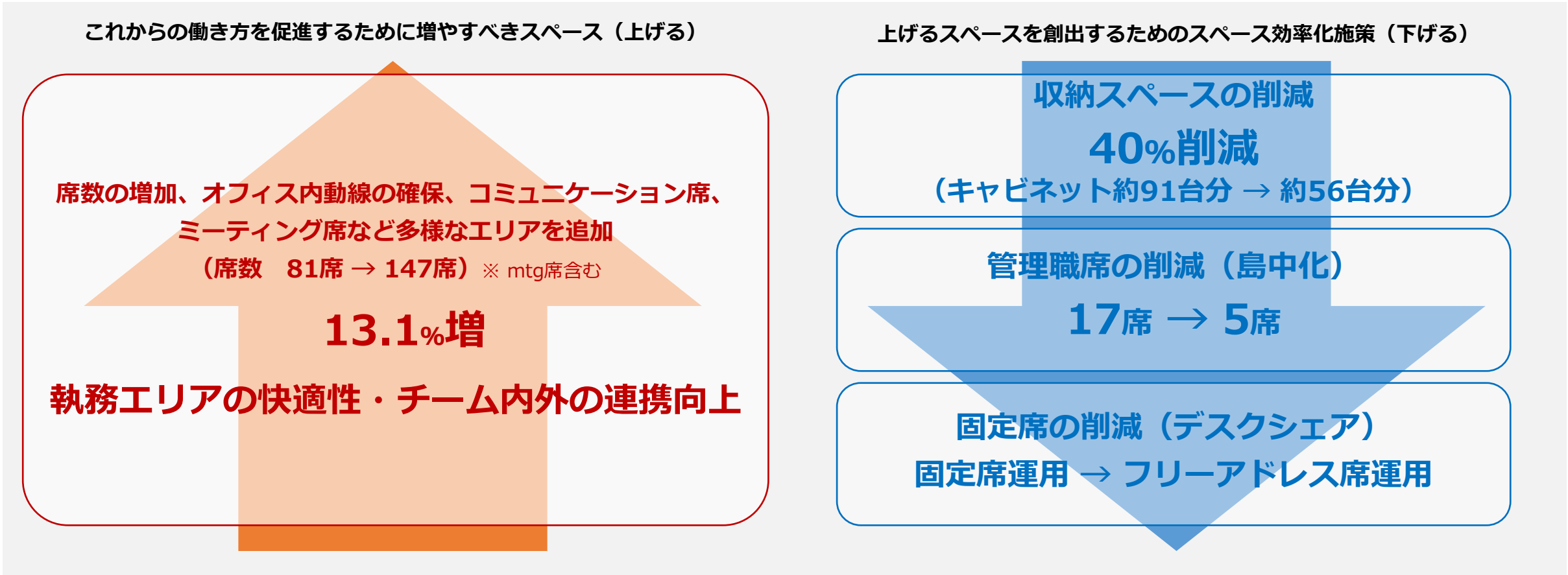




※ 同じ場所の比較写真ではありません。

オフィス改革結果

- 効率化したいスペース（書類や管理職スペース）を見直し、通路、mtgスペース、コミュニケーション席など業務の効率性や快適性を上げるスペースを**13.1%増加**させました。
- 更なる書類削減により、収納スペースを効率化することで、より有益なスペースを増やすことが可能です。



オフィス改革結果 | BEFORE/AFTER図面比較

- 自席の集中・快適度を向上させるため、デスク幅は現状維持・奥行は縮小し、ソファ席といった執務席以外の席を増やしました。また、チームの連携を向上させるためにコミュニケーション席や打合せスペースを増やし、一定の機密性とフレキシビリティを確保するため可動式パーティションを設置しました。

BEFORE

面積：414.4㎡

席数：81席 ※ mtg席含む

管理職席数：17席

収納量：511.4fm



AFTER

面積：414.4㎡

席数：**147席** ※ mtg席含む UP

管理職席数：**5席** DOWN

収納量：**312.0fm** DOWN



□通路 ■デスクスペース ■mtgスペース ■ソファ ■リフレッシュスペース ■WEBmtg・集中ブース ■収納・ロッカー ■管理職席・ブース ■OA・作業・コピースペース

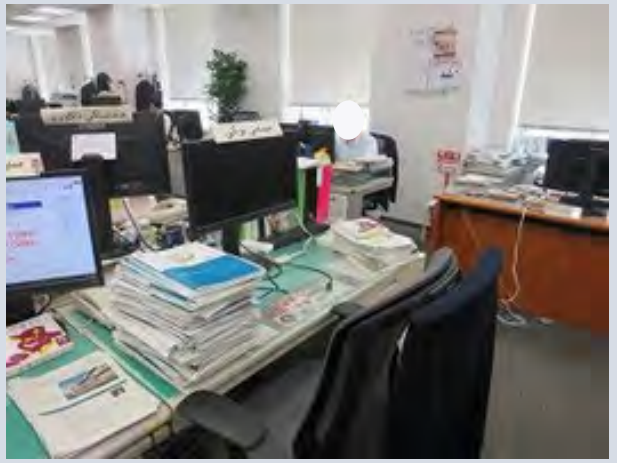
オフィス改革結果 | BEFORE/AFTER写真

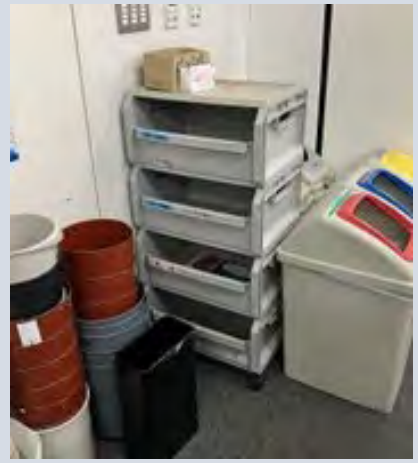
BEFORE











AFTER











働き方ガイド

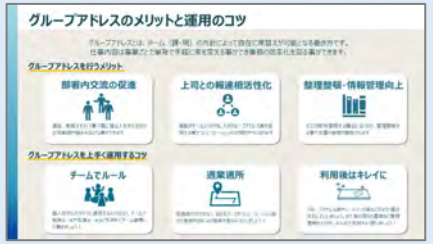
目次	掲載有無
これからの時代のオフィス・働き方のあり方	
目指す姿	○
執務室環境の変化	○
目指す姿を反映した執務室	○
目指す姿を実現するために 『下げる』『上げる』こと	○
執務室のBEFORE/AFTER	○
これからのワークスタイル	
グループアドレスについて	○
座席の運用（課室ごとのルール）	○
各エリア紹介	○
執務室の使い方・マナー	-
シーン別アクティビティ紹介	○
新オフィス使いこなし術	-
WEB会議・ハイブリットワークで 役立つワザ	○
WEB会議や電話をする際の注意	○
Teamsの豆知識	-Teams利用無

掲載ポイント

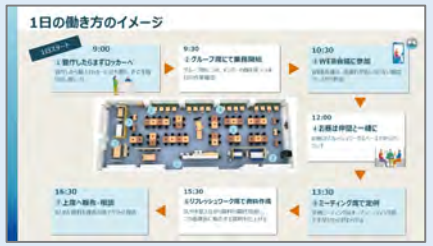
目指す姿を明確にし、それを実現するための要素が反映されたオフィスであるという意図をしっかり伝える



グループアドレスのメリットや、フリーに席を選ぶ際の運用のコツを紹介し、グループアドレスに対する抵抗感を少なくする



一日の働き方のイメージを紹介し、自由に座席を選んで働くことを促す



WEBブース・セミクローズ・オープンなど様々なタイプのエリアがあるため、それぞれの場での音の響き方を比較し、WEB会議をする際の注意を促す



アンケート実施結果　サマリー

総合満足度



総合満足度は大きく向上（5.8点 → 7.6点）。７点以上のポジティブ評価の比率が85%

- 役職別では、総じて満足度は高まった。特に係員の満足度の高まり度が非常に高い
- 年代別では、20代の満足度が大きく向上。若手が活躍しやすいオフィスになったと言える

生産性向上効果



パフォーマンス発揮度が向上

- 役職別には、課長・室長は、パフォーマンス発揮度はほぼ変化なし。他役職は増加
- 課長・室長や補佐以外の役職は、狭い環境から脱して、快適に働けるようになったことや、打合せ等業務がしやすくなったことから、パフォーマンス発揮度が向上したと考えられる

オフィスの満足度



「チームで仕事」「リアル会議」「モチベーション」「心身健康」「ICT活用」

「防災視点」は7点を超え、一般的にも非常に高い満足度

- 改善率は多くの項目で高い数値を示しており、中でも、「オンライン会議」「課室を超えた仕事」は改善率が70～80%を超えており、かなり満足度が高まった

働き方の変化

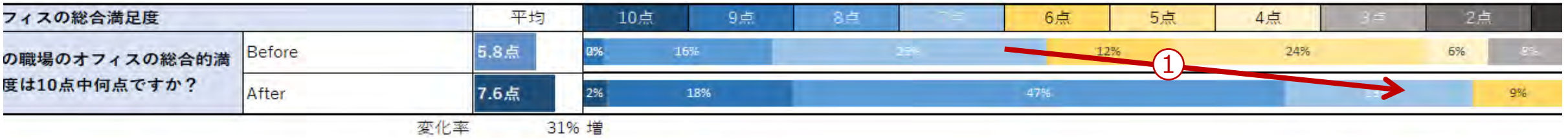


ABWの活用が進展。ペーパーレスで働く人の比率も向上

- 本来は、自身やチーム生産性を高める上では、週4日程度の出勤率が望ましいという声が多い
- ABWはある程度活用が進み、自席以外で仕事をしたりリフレッシュしたりする人の割合が49%となった
- ペーパーレスは「ほとんどできている」という人の比率が大きく増えた。今後、絶対数を更に増加させる余地あり

アンケート実施結果　①総合満足度

回答者数	総数	役職					勤続年数							年代					
		課長・室長・企画官級	補佐級（専門官を含む）	係長級（専門職を含む）	係員級（主任を含む）	その他（研修生・非常勤職員等）	半年未満	半年～1年	1年～3年	4年～9年	10年～15年	16年以上	未回答	20代	30代	40代	50代	60代以上	未回答
Before	50	5	11	12	5	17	24	5	21	0	0	0	0	15	17	14	3	1	0
After	45	4	6	12	4	19	5	17	20	3	0	0	0	10	17	9	5	4	0



役職別	課長・室長 企画官	補佐 専門官	係長 専門職	係員 主任	他・非常勤
Before	6.0点	6.1点	5.2点	4.8点	6.2点
After	7.5点	7.7点	7.8点	7.8点	7.5点

②

勤続別	半年未満	半年～1年	1～3年	4～9年
Before	6.0点	4.4点	5.8点	#DIV/0!
After	6.2点	7.9点	7.8点	6.7点

年代別	20代	30代	40代	50代	60代
Before	5.7点	5.6点	6.0点	5.7点	7.0点
After	7.9点	7.5点	7.8点	7.2点	7.3点

③

① **総合満足度はリニューアル前後で大きく向上（5.8点 → 7.6点）。7点以上のポジティブ評価の比率が85%と、満足度が極めて高くなった**

- 一般的に、ワゴン撤去・管理職席数の縮小等を伴うオフィス改革の場合、完成直後の慣れない間は満足度6.5点以上あれば良い → 今回は非常に良い結果と言える
- 全体的に、世の中一般と比べても非常に高い満足度となった

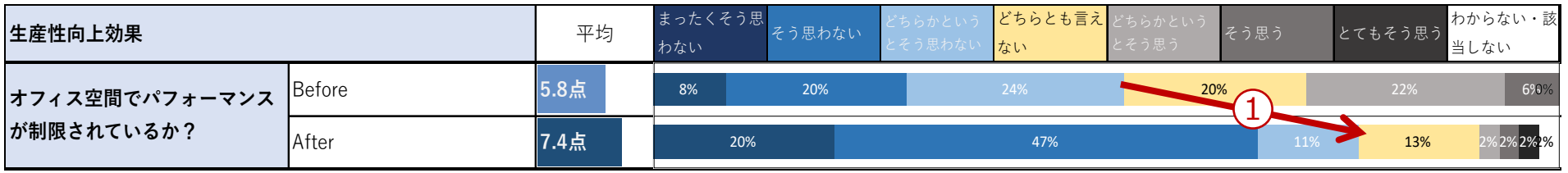
② **役職別では、総じて満足度は高まった。特に係員の満足度の高まり度が非常に高い**

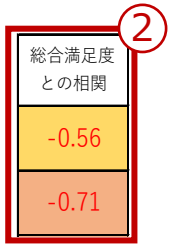
- 若手が自律的・快適に働きやすくなり、活躍しやすい環境構築につながったと思われる
- 全体で大きく満足度が高まった結果、今後の書類整理やICT活用など働き方のアップデートについても推進・維持されることが期待される

③ **年代別では、20代の満足度が大きく向上**

- 上記の通り、若手が活躍しやすいオフィスになったと言える

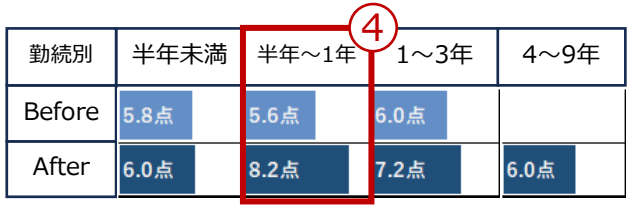
アンケート実施結果　②生産性向上効果

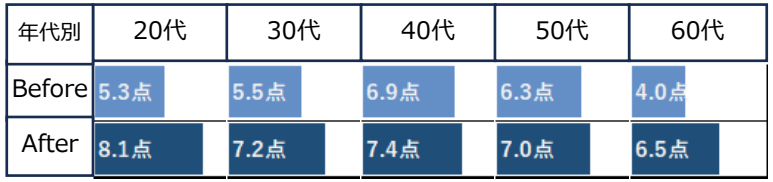




「まったくそう思わない」＝10点、「そう思わない」＝8点、「どちらかというとそう思わない」＝6点、「どちらとも言えない」＝5点、「どちらかというとそう思う」＝4点、「そう思う」＝2点、「とてもそう思う」＝0点　「わからない・該当しない」＝除外　として集計







① リニューアルによって、オフィス空間でパフォーマンスの発揮が制限されていると感じる人は減少（パフォーマンス発揮度が高まった）

- 今後オフィス活用が進み、オフィス改革に合わせたペーパーレスやテレワークなど働き方改革が進展していくことで、更にパフォーマンス実感も高まると思われる

② 本設問とオフィスの総合満足度点数との相関は、リニューアル後に更に強くなった

- オフィスでのパフォーマンス発揮度の実感が、オフィスの満足度に直結していると言える
- 今後オフィスでの働き方改革を進め、よりパフォーマンス高く働けるようになることで、ABWのメリットも実感できるようになり、相乗効果で両方が高まる可能性あり

③ 役職別には、課長・室長は、パフォーマンス発揮度はほぼ変化なし。他役職は増加。

- 課長・室長や補佐では、デスクの島中化など「下げる」環境変化があったが、パフォーマンスへの大きな制約は見受けられなかった
- 一方、それ以外の役職は、狭い環境から脱して、快適に働けるようになったことや、打合せ等の業務がしやすくなったことから、パフォーマンス発揮度が向上したと考えられる

④ 勤続別には、全体的にパフォーマンス発揮度向上を実感しており、所属して半年～1年の人の伸び率が最も高い

- 所属して半年～１年の人の伸び率が最も高く、２pt以上上昇しており、パフォーマンス発揮度が大きく向上し、全体平均を押し上げた

アンケート実施結果　③オフィスの満足度詳細

オフィスの満足度（以下の項目が「しやすいか？」と質問）		平均	改善率	とてもそう思う	そう思う	どちらかというとそう思う	どちらとも言えない	どちらかというとそう思わない	そう思わない	まったくそう思わない	わからない・該当しない	総合満足度との相関
1人で作業（集中作業・専門作業・アイデア出しなど）	Before	4.5点	52%	2%	14%	12%	18%	30%	20%	4%		0.28
	After	6.9点		18%	40%	7%	18%	9%	7%	0%	2%	0.42
チームで情報共有しながら仕事（報連相・1on1、連携作業など）	Before	6.0点	30%	4%	34%	34%	8%	4%	14%	0%		0.12
	After	7.8点		31%	40%	13%	11%	2%	0%			0.61
リアル打合せ・会議（定例会など主に課室内の会議・ブレスト）	Before	5.1点	59%	2%	16%	24%	18%	24%	12%	2%	2%	0.14
	After	8.2点		29%	51%	11%	7%	2%				0.20
オンラインで打合せ・会議（定例会など主に課室内の会議など）	Before	3.8点	77%	0%	8%	14%	10%	34%	20%	12%	2%	0.31
	After	6.8点		16%	29%	24%	18%	9%	2%	2%		0.34
課室を超えて、他課室や部局と仕事（情報交換・会議など）	Before	3.7点	88%	0%	6%	14%	18%	26%	18%	16%	2%	0.44
	After	6.9点		13%	31%	22%	22%	2%	2%	9%		0.27
省を超えて、他省庁や外部企業・外部機関と仕事（情報交換・会議など）	Before	3.7点	60%	2%	2%	14%	22%	26%	12%	18%	4%	0.21
	After	6.0点		4%	18%	27%	29%	4%	4%	0%	13%	0.29
やる気が出る・モチベーション高く働く	Before	4.7点	60%	0%	2%	22%	46%	12%	10%	4%	2%	0.38
	After	7.5点		24%	36%	22%	9%	2%	2%	2%	4%	0.64
心身健康・快適（ウェルビーイング）に働く	Before	4.6点	65%	0%	10%	20%	38%	8%	16%	6%	2%	0.38
	After	7.6点		29%	33%	22%	9%	2%	2%	2%	2%	0.66
ICT・ツールを活用して、効率的に働く	Before	4.6点	56%	2%	14%	22%	10%	26%	20%	6%		0.52
	After	7.2点		16%	44%	7%	24%	7%	0%	2%		0.29
防災視点でリスクなく働く（避難経路確保困難、落下等）	Before	4.6点	58%	4%	8%	14%	30%	22%	10%	10%	2%	0.13
	After	7.2点		18%	42%	13%	20%	2%	2%	2%	2%	0.67
セキュリティ視点でリスクなく働く（盗難盗聴、侵入等）	Before	4.7点	9%	0%	14%	18%	24%	20%	18%	4%	2%	0.03
	After	5.1点		0%	22%	11%	36%	13%	11%	4%	2%	0.61
		平均改善率	56%									

①　②　③

「まったくそう思わない」＝0点、「そう思わない」＝2点、「どちらかというとそう思わない」＝4点、「どちらとも言えない」＝5点、「どちらかというとそう思う」＝6点、「そう思う」＝8点、「とてもそう思う」＝10点　「わからない・該当しない」＝除外　として集計

① **「チームで仕事」「リアル会議」「モチベーション」「心身健康」「ICT活用」「防災視点」は、今回で7点を超え、一般的にも非常に高い満足度**
- 「下げる」・「上げる」工夫により、自席周辺の快適性向上や、動線確保、ミーティングスペースの確保ができ、PHS・チャット活用が進み、満足度が向上したと考えられる

② **改善率は多くの項目で高い数値を示しており、中でも、「オンライン会議」「課室を超えた仕事」は改善率が70～80%を超えており、かなり満足度が高まった**
- 自由記述コメントでは、課を超えたコミュニケーションのしやすさを喜ぶ声もあり、仕事のパフォーマンス向上にもつながっている

③ **オフィスの総合満足度との相関を見ると、「モチベーション」「心身健康・ウェルビーイング」「防災」との相関が特に高い**
- スペース配分見直しや備品刷新、デザイン向上等により、自席周りの快適性が向上し、モチベーション高く、心身健康・安全に働け、オフィス総合満足度が高まったと考えられる

アンケート実施結果　④働き方の変化

テレワーク実践状況		平均	変化率
平時のオフィス出社日数（週）	Before	4.7日	-4%
	After	4.5日	
繁忙時のオフィス出社日数（週）	Before	4.9日	-3%
	After	4.8日	

		5日	4日	3日	2日	1日	出勤していない
平時のオフィス出社日数（週）	Before	74%				24%	0%
	After	64%				29%	2% 0%
繁忙時のオフィス出社日数（週）	Before	96%					2%
	After	84%				11%	0% 0%

テレワーク理想		平均	変化率
平時の理想的なオフィス出社日数（週） ※自身やチームの生産性・成果を高めるために	Before	3.8日	4%
	After	3.9日	

		5日	4日	3日	2日	1日	出勤は不要	分からない
平時の理想的なオフィス出社日数（週） ※自身やチームの生産性・成果を高めるために	Before	16%	48%			28%	2% 2%	4%
	After	18%	56%			18%	4% 0%	4%

ABW実践状況		平均	変化率
出社している間で、自分の席に着席している時間（比率）	Before	83%	-1%
	After	82%	
業務内容や状況に応じて、自分の席以外の集中席やリフレッシュ席を選択して働いていますか？		「はい」の比率	変化率
	Before	16%	206%
	After	49%	

		9割以上着席	6～8割着席	3～5割着席	1～2割着席	わからない
出社している間で、自分の席に着席している時間（比率）	Before	54%			44%	0%
	After	53%			42%	0%

		はい	いいえ
業務内容や状況に応じて、自分の席以外の集中席やリフレッシュ席を選択して働いていますか？	Before	16%	84%
	After	49%	51%

「いいえ」と答えた方へ。それはなぜですか？		選べる席がない・知らない	選べる席が埋まっている	業務上特定の席にいる	特定の席に着くよう指示される	席を替えながら働きたくない	その他
	Before	50%	5%	12%	0%	21%	12%
	After	9%	30%	4%	4%	22%	30%

※「9割以上」＝95%、「6～8割」＝70%、「3～5割」＝40%、「1～2割」＝15%　「わからない」＝除外　として計算

ペーパーレス実践状況		ほとんどできている人の比率	変化率
レクや会議のペーパーレス化（モニタやPCに投影しながら会議）はされていますか？	Before	4%	122%
	After	9%	
紙文書の印刷・保管をなるべく少なくし、電子上で閲覧・保管する働き方を実践されていますか？	Before	6%	122%
	After	13%	

		ほとんどできている	一部は紙だが、書類特性上やむを得ない	一部は紙だが、ペーパーレスにしてもいいと思う	ほとんど紙だが、書類特性上やむを得ない	ほとんど紙だが、ペーパーレスにしてもいいと思う	わからない	その他
レクや会議のペーパーレス化（モニタやPCに投影しながら会議）はされていますか？	Before	4%	26%	28%		12%	24%	4% 2%
	After	9%	53%			27%	0% 9%	2%
紙文書の印刷・保管をなるべく少なくし、電子上で閲覧・保管する働き方を実践されていますか？	Before	6%	22%	34%		10%	26%	2%
	After	13%	60%			20%	0% 4%	2%

チャット実践状況		全員で活用している人の比率	変化率
チャットを活用してコミュニケーションしていますか？	Before	60%	15%
	After	69%	

		全員で活用している	一部で活用している	ほとんどの人が活用していない	わからない	その他
チャットを活用してコミュニケーションしていますか？	Before	60%			36%	0%
	After	69%			29%	2%

① **テレワーク実践度はあまり変化せず、ほとんど毎日出勤している状況が継続**

② **本来は、自身やチームの生産性を高める上では、週４日程度の出勤率が望ましいという声が多い**

- オフィス改革を機に、管理職を始めテレワークを推進することで、生産性実感が高まる可能性がある

① **ABWはある程度活用が進み、自席以外で仕事をしたりリフレッシュしたりする人の割合が49%となった**

- 通常の執務席を職員数よりも少なくしたことで、積極的に様々な席を活用する働き方が進んだと思われる
- 席を選ばない人の多くは、「業務特性上、同じ席にいる」という声だが、今後、ペーパーレスやテレワークが進むことで「常に同じ場所で働く」ことの必然性が低下し、柔軟な働き方が促進され、ABWも進むと思われる

① **ペーパーレス会議が、「ほとんどできている」という人の比率が大きく増えたが、まだその絶対値は小さい。**

- 更にペーパーレスの気運・実践が高まることを期待

② **チャットは69%が「全員で活用できている」と実感**

- チャットは定着したと言える。この成果を活かして、テレワークやABWなど新たな働き方に進化することを期待